

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月28日

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画（その3）（重点計画）（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	泉佐野市											
計画の目標	・下水道整備を計画的に行い、市民にとって災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,469	A	2,469	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	・下水道による都市浸水対策の達成率を15.7%(R2年度当初)から15.8%(R6年度末)に増加させる。 都市浸水対策達成率(%) 都市浸水対策達成率 = (整備済み面積(ha) / 整備対象全体面積(ha)) 整備計画対象全体面積 : 2,785(ha) (下水道全体計画面積)	16%	16%	16%
2	・中央ポンプ場の長寿命化対策により、既設ポンプ設備6台の改築実施率を66.7%(R2年度当初)から100%(R2年度末)に増加させる。 泉佐野市中央ポンプ場（ポンプ設備台数：6台）の老朽化している設備の改築実施率(%) 泉佐野市中央ポンプ場（ポンプ設備台数：6台）の老朽化している設備の改築実施率 = (改築済みポンプ設備数(施設) / 改築が必要なポンプ設備数(施設))	67%	100%	100%
3	・中央ポンプ場の長寿命化対策により、水処理設備（既設除塵機3台、し渣搬出機2台他）の改築実施率を0%(R2年度当初)から80.0%(R6年度末)に増加させる。 泉佐野市中央ポンプ場（水処理設備（既設除塵機3台、し渣搬出機2台他））の老朽化している設備の改築実施率(%) 泉佐野市中央ポンプ場（水処理設備（既設除塵機3台、し渣搬出機2台他））の老朽化している設備の改築実施率 = (改築済み水処理設備数(施設) / 改築が必要な水処理設備数(施設))	0%	40%	80%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
・番号1について、定量的指標の現況値及び目標値：(R2当初)15.7%、(R6末)15.8% ・泉佐野市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A07-001～A07-003全て										

A 基幹事業

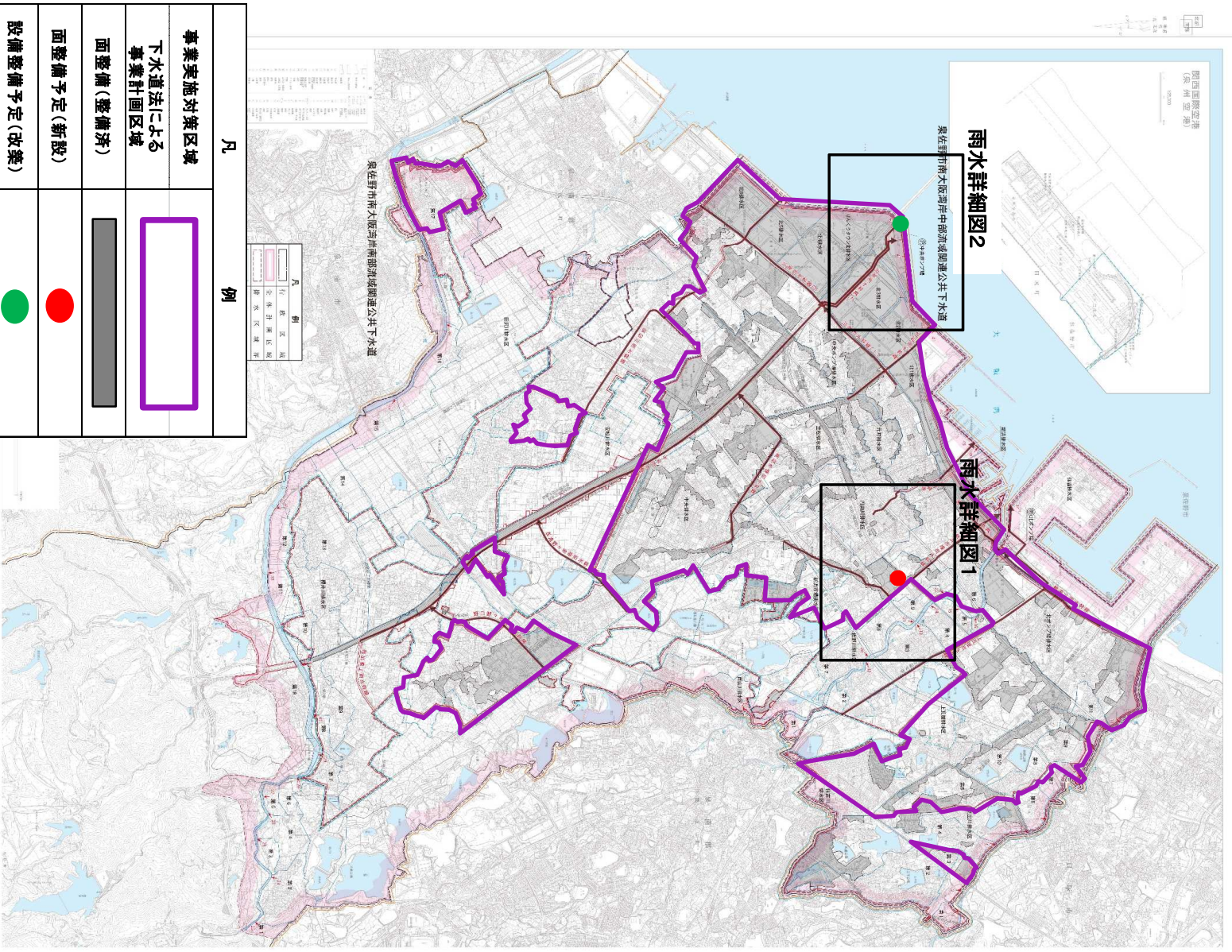
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	管渠(雨水)	新設	湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業	雨水管渠 350~1000mm、L=0.5km、実施設計	泉佐野市						503	-	
	A07-002	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策	雨水ポンプ設備 N=2台	泉佐野市						448	策定済	
	下水道長寿命化計画																		
	A07-003	下水道	一般	泉佐野市	直接	泉佐野市	ポンプ場	改築	湾岸中部処理区 中央ポンプ場第2期長寿命化対策	水処理設備(既設除塵機:3台、し渣搬出機:2台他)	泉佐野市						1,518	策定中	
	下水道ストックマネジメント計画																		
												小計						2,469	
											合計						2,469		

(参考図面)

計画の名称：泉佐野市下水道整備計画(その3)(防災・安全)  
 計画の期間：令和2年度～令和6年度(5年間)  
 交付対象：泉佐野市

1：10,000

泉佐野市下水道計画図(雨水)



凡 例

事業実施対策区域	
下水道法による事業計画区域	
面整備(整備済)	
面整備予定(新設)	
設備整備予定(改築)	

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画(その3)(防災・安全)	交付対象	泉佐野市
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)		

A07-001	海岸中部処理区 雨水管渠整備事業	
A07-002	海岸中部処理区 中央ポンプ場長寿命化対策	
A07-003	海岸中部処理区 中央ポンプ場第2期長寿命化対策	

(参考図面)

(参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画(その3)(重点計画)(防災・安全)	交付対象	泉佐野市
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)		

(参考図面)

雨水詳細図1

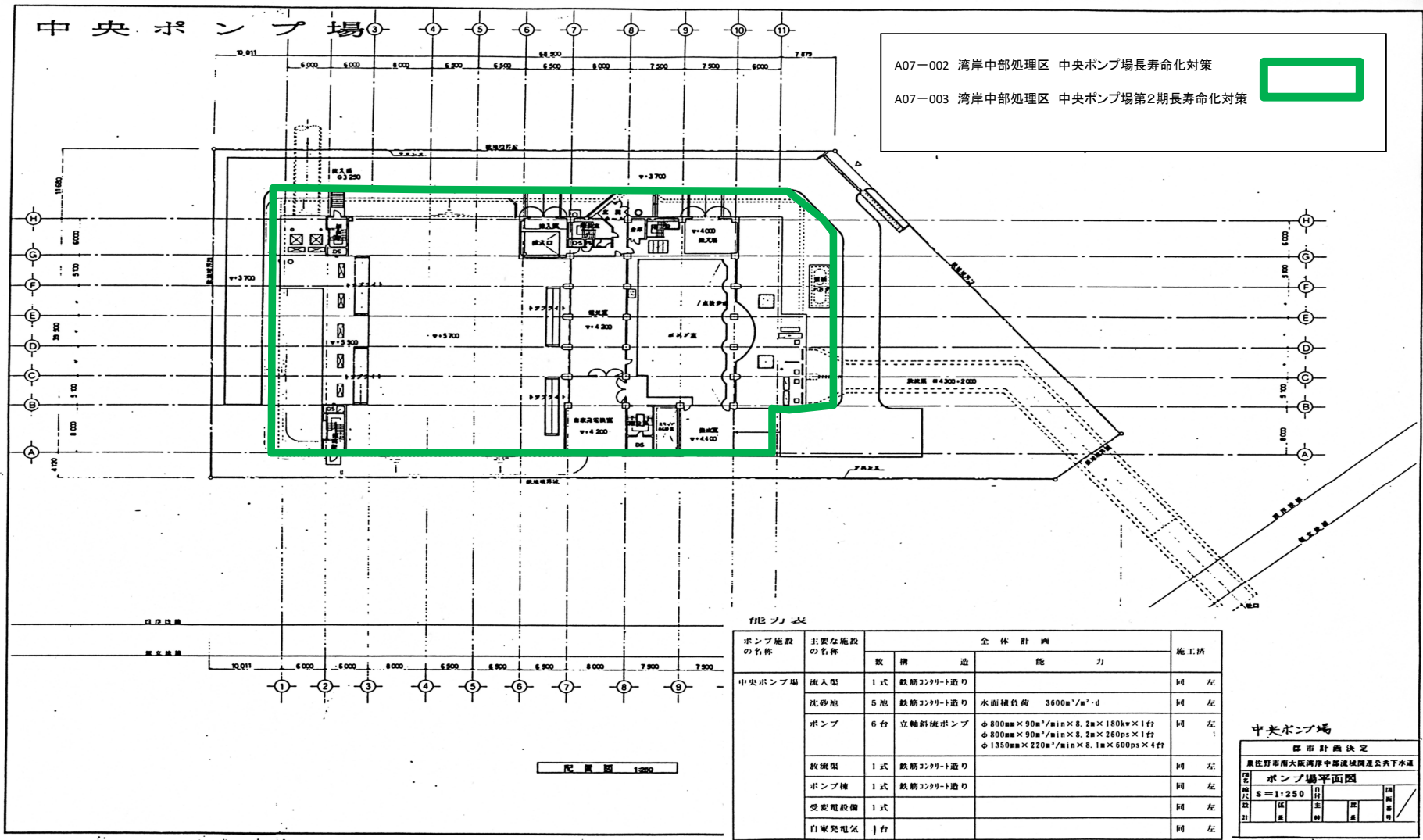


凡	例
A07-001 湾岸中部処理区 雨水管渠整備事業	
下水道法による事業計画区域	

(参考図面)

計画の名称	泉佐野市下水道整備計画(その3)(重点計画)(防災・安全)	交付対象	泉佐野市
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)		

(参考図面) 雨水詳細図 2



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 泉佐野市下水道整備計画（その3）（重点計画）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が『泉佐野市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 持続的な社会資本整備が必要とされている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 計画（事業）の必要性について市民の理解を得られている。	○